

「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係る

アンケート調査

(社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体用)

集 計 結 果

■ 調査目的

新しい「(仮称)青森市地域福祉計画」の策定に当たって、市民や各団体の考え・意識などの現状と課題を把握し、地域福祉計画の基礎資料とするため。

■ 調査対象者数

205件

- ・社会福祉法人:85
- ・NPO法人:80
- ・ボランティア団体:40

■ 調査期間

29日間(令和5年12月22日～令和6年1月19日)

■ 調査方法

青森市内に住所を置く全ての社会福祉法人、NPO法人及びボランティア団体に送付

■ 回答数、回答率

108件、52.7%

■ 対象者別回答数・回答率

対象者	社会福祉法人	NPO法人	ボランティア団体	合計
対象者数	85	80	40	205
回答数 (回答率)	53 (62.3%)	36 (45.0%)	19 (47.5%)	108 (52.7%)

■ 注意事項

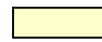
- (1) 図表中の「n」は、回答数を示しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答数を基礎として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の設問については、回答比率の合計を100%とするために、その設問の総回答数を基礎として回答比率を算出しています。



社会福祉法人



NPO法人



ボランティア団体

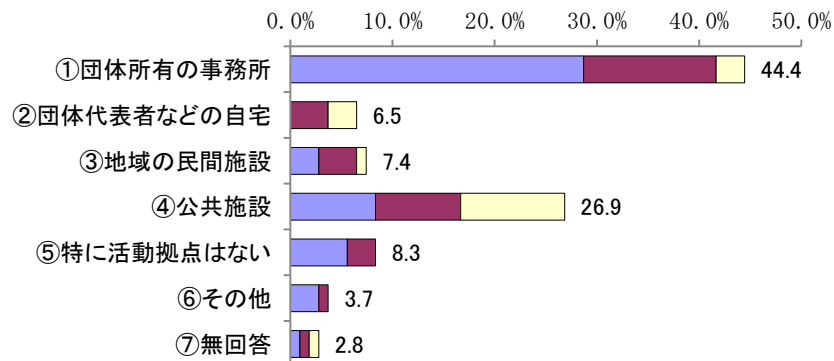
《Ⅰ. 地域での活動状況について》

【問2】

地域活動を行う上で、貴団体の主な活動拠点は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

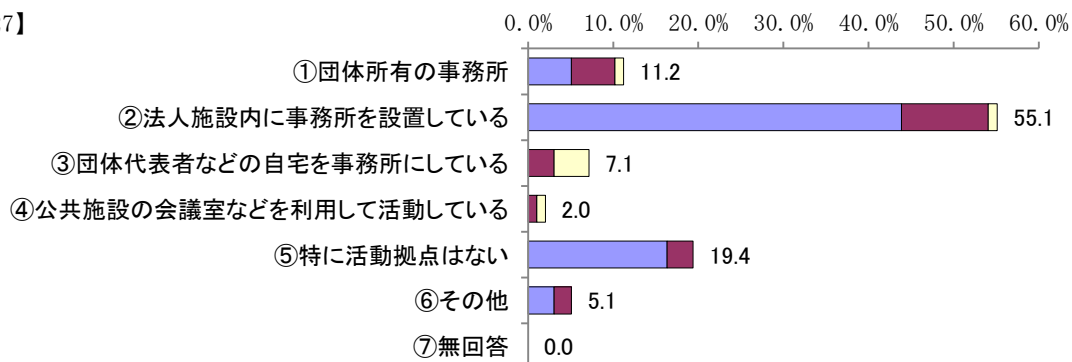
【R5】

(n=108)



【H27】

(n=98)



活動拠点については、「①団体所有の事務所」と回答した割合が44.4%と最も高く、次いで「④公共施設」が26.9%となっています。

前回調査時と比較すると、「④公共施設の会議室などを利用して活動している」が24.9ポイント増加している一方、「①団体所有の事務所」が21.9ポイント減少しています。

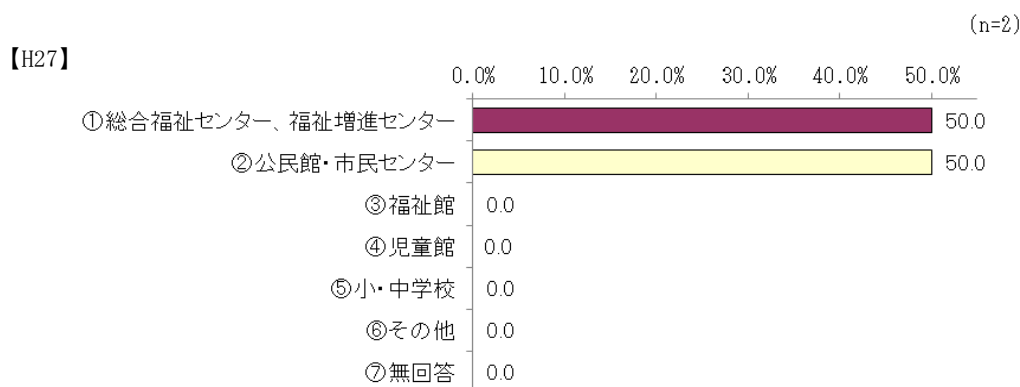
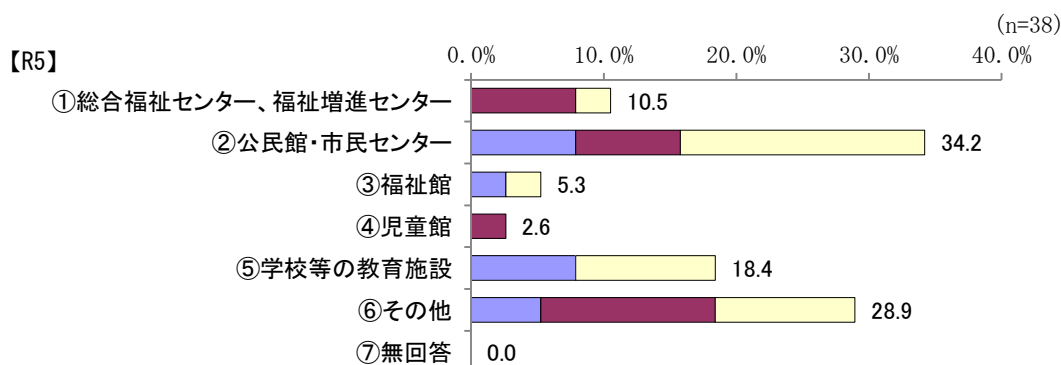
社会福祉法人

NPO法人

ボランティア団体

【問3】＜【問2】で4と回答した方のみ＞

主な活動拠点としている公共施設は、次のどれにあたりますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

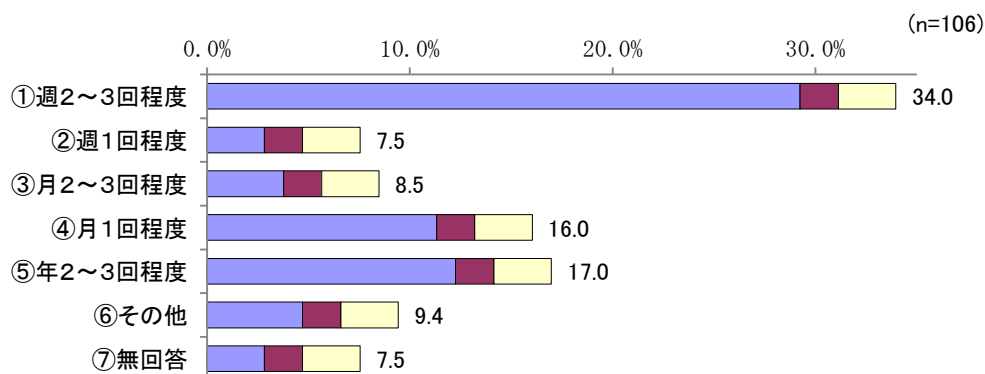


活動拠点としている公共施設については、前回調査時と同様に「②公民館、市民センター」が34.2%と最も高くなっています。

前回調査時と比較すると、「①総合福祉センター、福祉増進センター」、「②公民館・市民センター」以外の公共施設についても、幅広く利用されています。

【問4】＜【問2】で4と回答した方のみ＞

主な活動拠点としている公共施設の利用頻度は、どれくらいですか。該当するものに○をつけてください。（○は1つ）



活動拠点としている公共施設の利用頻度については、「①週2～3回程度」の回答が34.0%と最も多く、次いで、「⑤年2～3回程度」という回答が17.0%となっています。

社会福祉法人

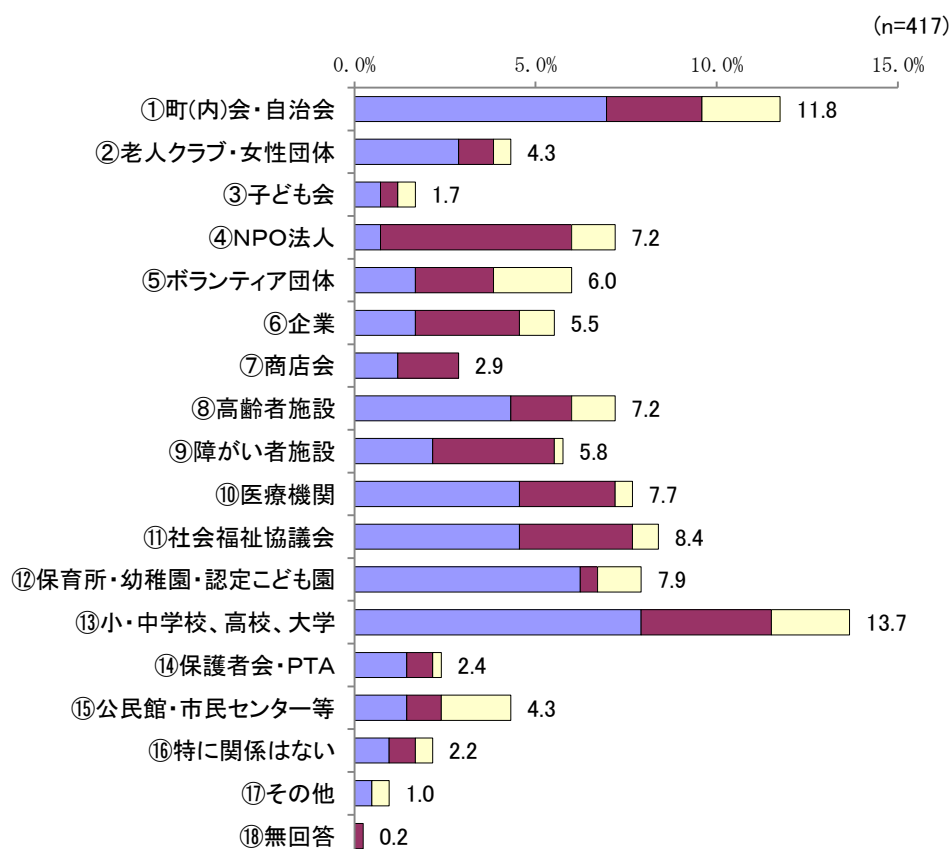
NPO法人

ボランティア団体

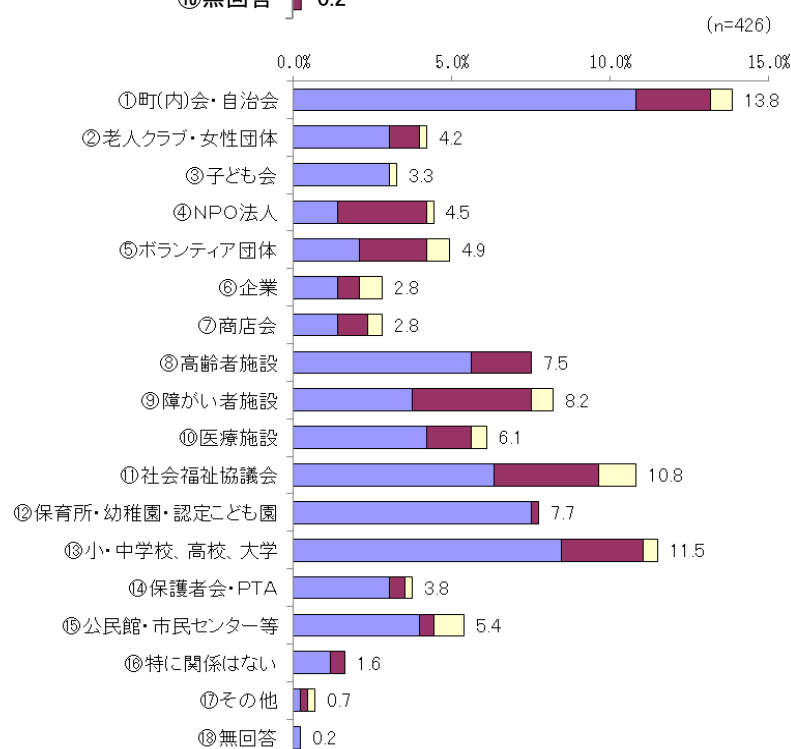
【問5】

貴団体は、他の団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

【R5】



【H27】



他の団体や公共機関などとの交流や協力関係については、「⑬小・中学校、高校、大学」と回答した割合が13.7%と最も高く、次いで「①町(内)会・自治会」が11.8%となっています。

前回調査時と比較すると、「⑬小・中学校、高校、大学」と回答した割合が2.2ポイント増加している一方、「①町(内)会・自治会」が2.0ポイント減少しています。

社会福祉法人

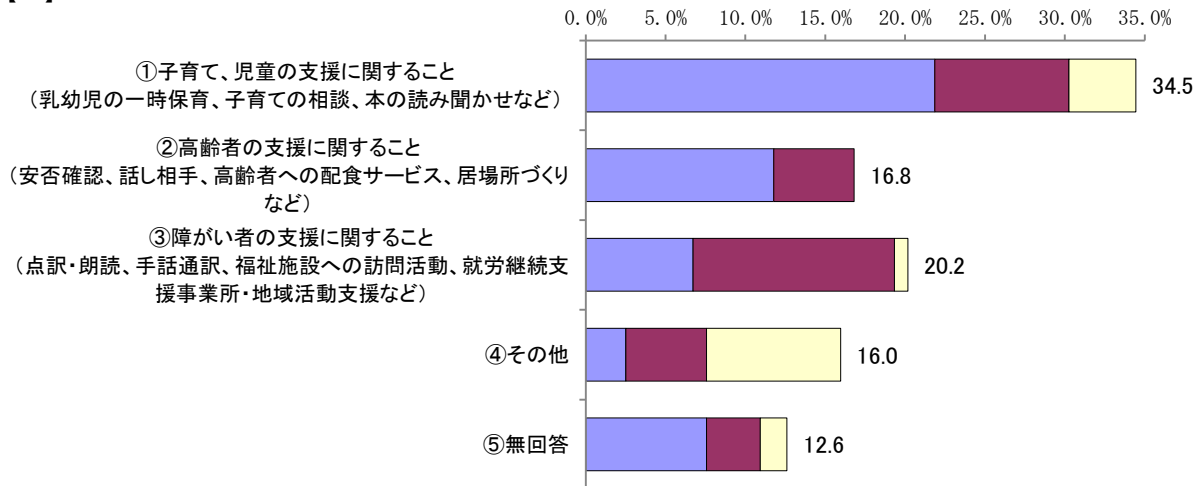
NPO法人

ボランティア団体

【問6】＜【問5】で16以外と回答した方のみ＞
貴団体が、他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動は、どのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

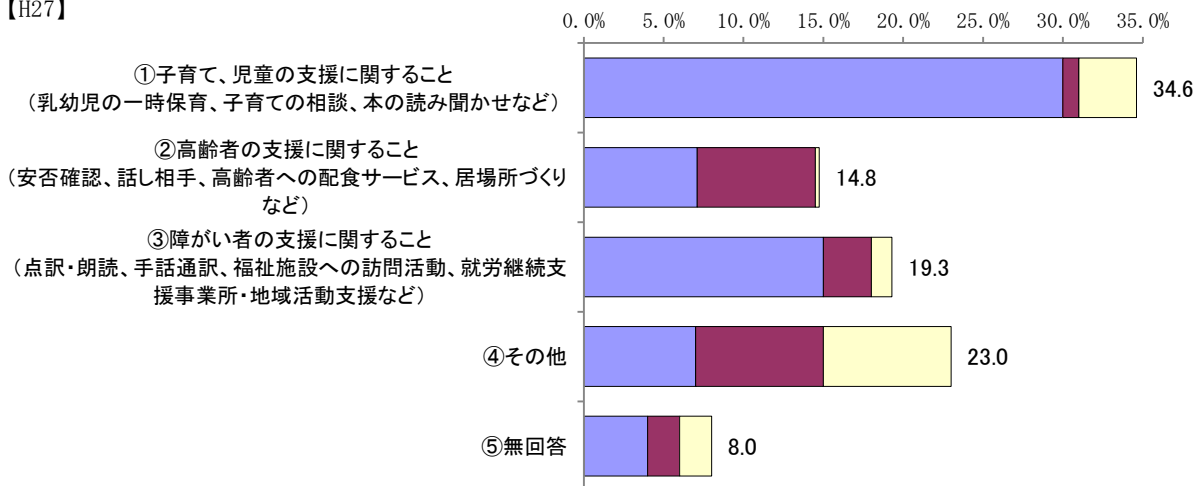
【R5】

(n=119)



【H27】

(n=260)



他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動については、「①子育て、児童の支援に関すること」と回答した割合が34.5%と最も高く、次いで「③障がい者の支援に関すること」が20.2%となっています。

前回調査時と比較すると、「②高齢者の支援に関すること」と回答した割合が2.0ポイント増加しています。

社会福祉法人

NPO法人

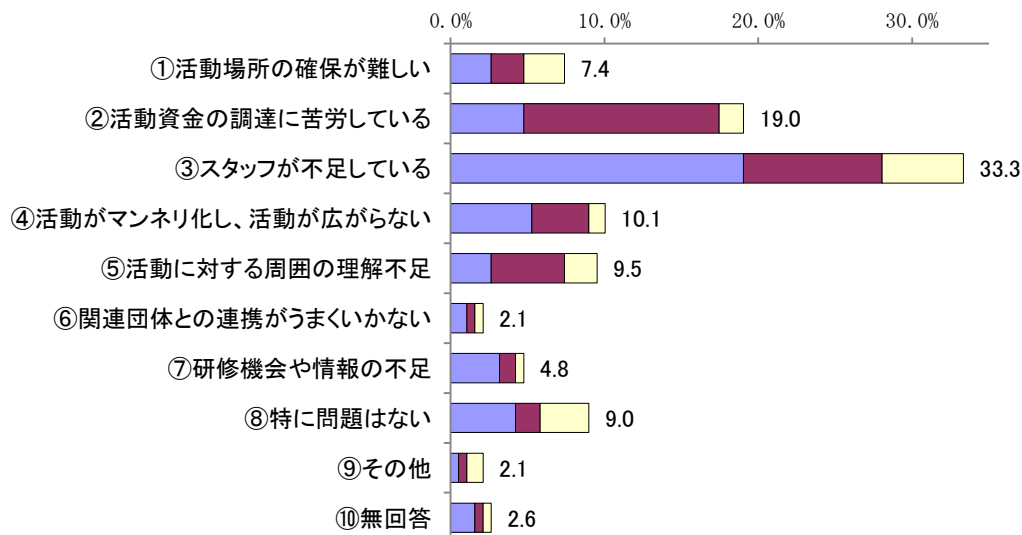
ボランティア団体

【問7】

貴団体の活動を行う（継続する）上での課題や問題点は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

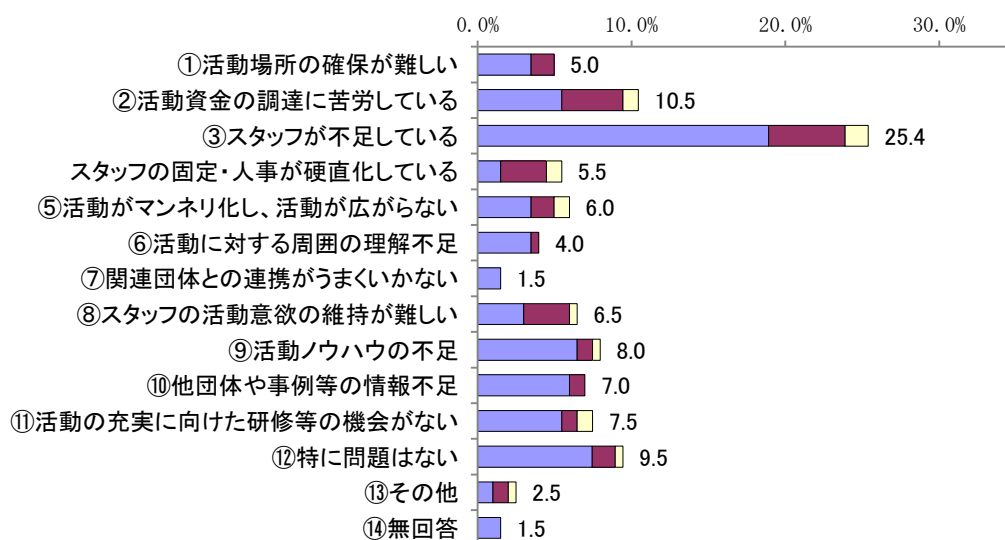
【R5】

(n=189)



【H27】

(n=201)



活動上の課題や問題点については、「③スタッフが不足している」と回答した割合が33.3%と最も高く、次いで「②活動資金の調達に苦労している」が19.0%となっています。

前回調査時と比較すると、「②活動資金の調達に苦労している」と回答した割合が8.5ポイント、「⑦スタッフが不足している」が7.9ポイント、それぞれ増加しています。

社会福祉法人

NPO法人

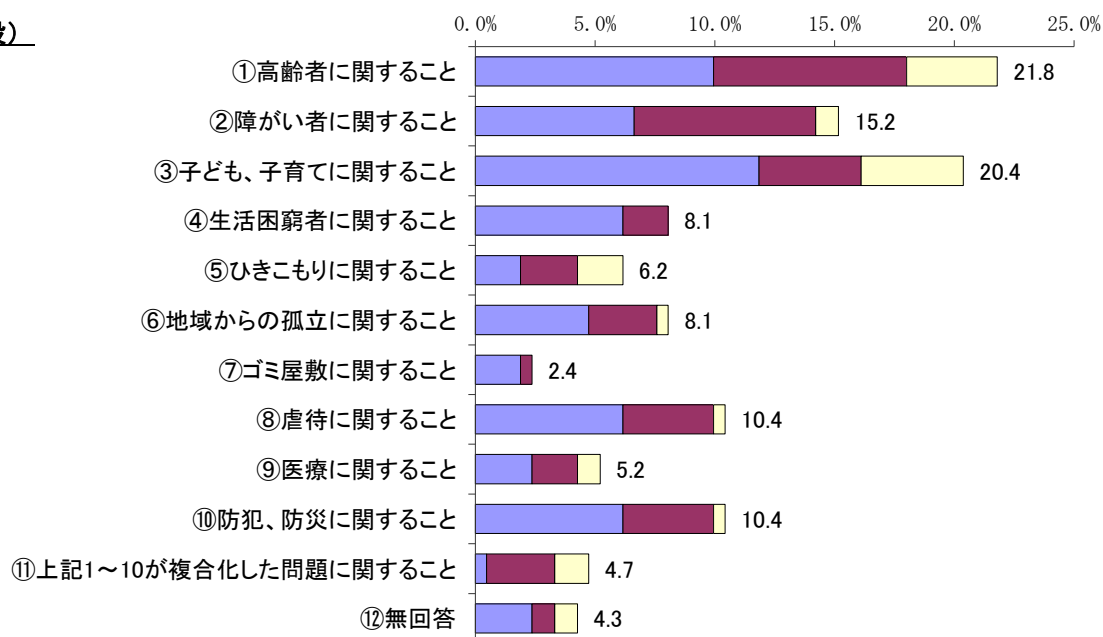
ボランティア団体

【問8】

貴団体が活動する中で、増えてきたと特に感じる地域の問題、課題等がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

(n=247)

R5（新設）



増えてきたと特に感じる地域の問題、課題等については、「①高齢者に関すること」と回答した割合が21.8%と最も高く、次いで、「③子ども、子育てに関すること」が20.4%、「②障がい者に関すること」が15.2%となっています。

社会福祉法人

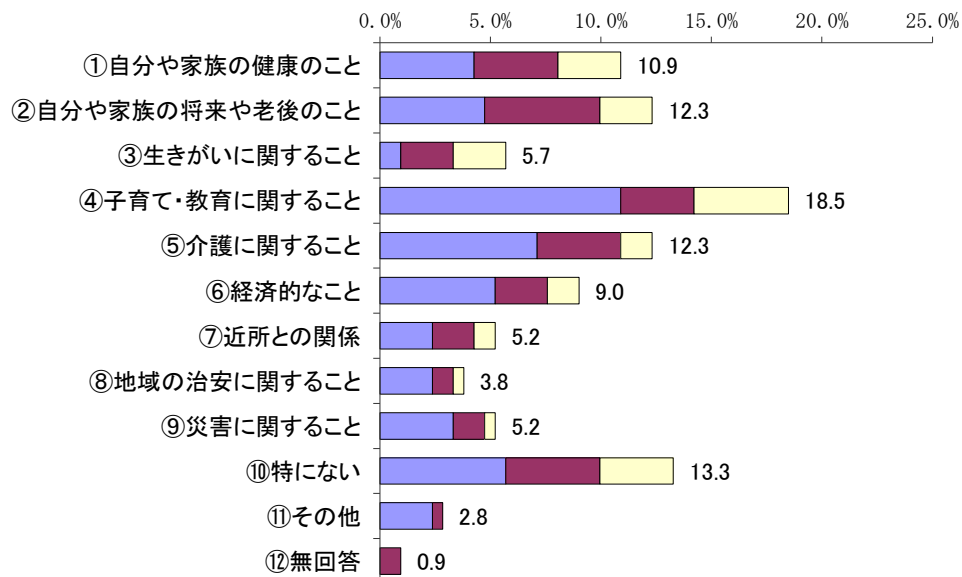
NPO法人

ボランティア団体

【問9】
貴団体では、地域の住民の方から、どのような内容の相談を受けたことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

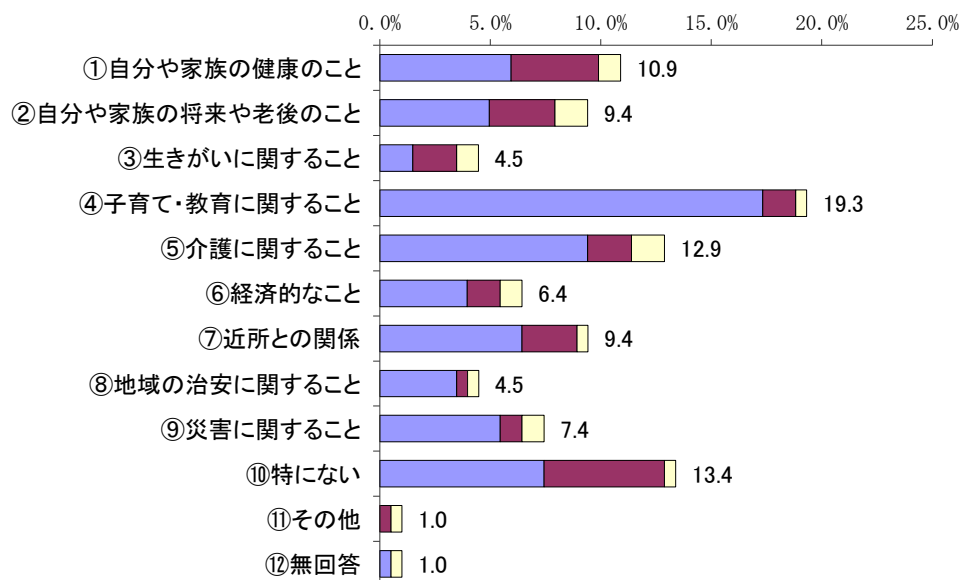
【R5】

(n=211)



【H27】

(n=202)



地域住民から受けた相談内容については、「④子育て・教育にすること」と回答した割合が18.5%と最も高く、次いで「⑩特にない」が13.3%となっています。
前回調査時と比較すると、「②自分や家族の将来や老後のこと」と回答した割合が2.9ポイント、「⑥経済的なこと」が2.6ポイント、それぞれ増加しています。

社会福祉法人

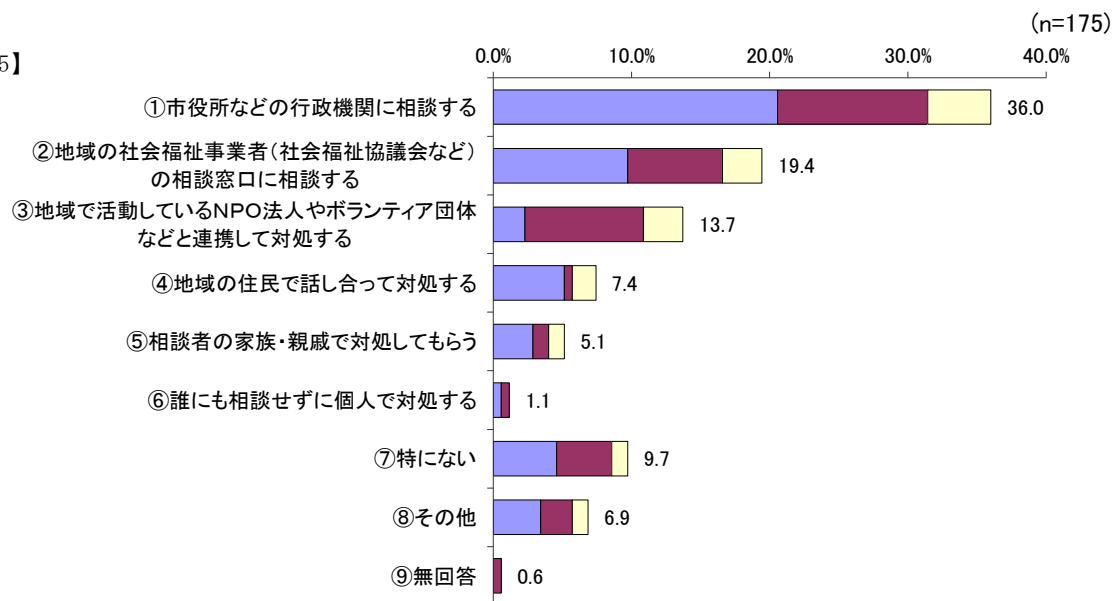
NPO法人

ボランティア団体

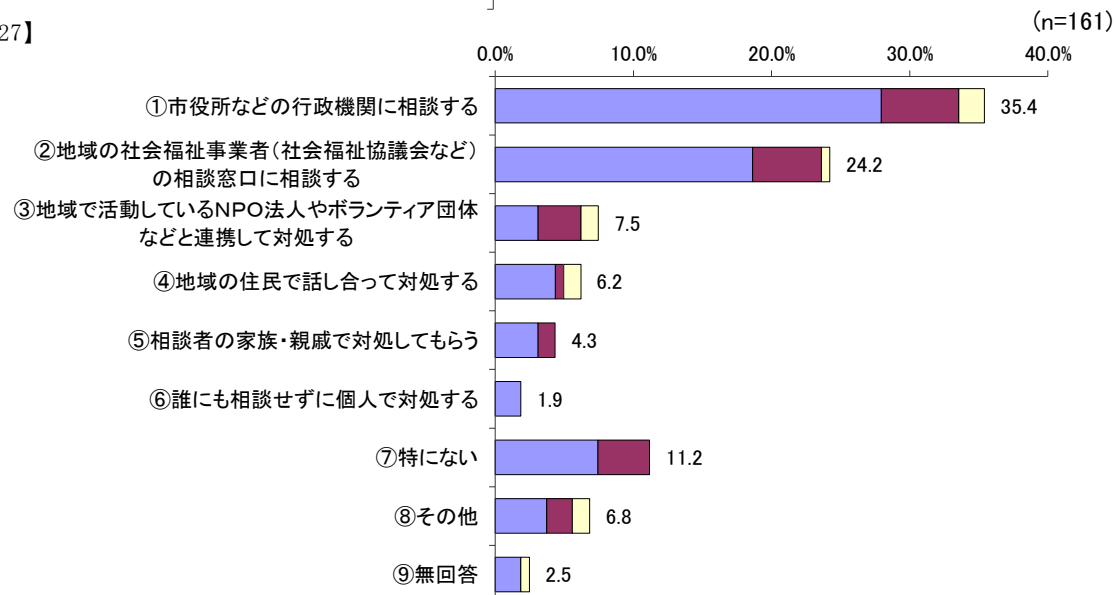
【問10】

貴団体では、地域の住民の方から相談を受けた場合、どのように対処していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

【R5】



【H27】



地域住民からの相談の対処については、「①市役所などの行政機関に相談する」と回答した割合が36.0%と最も高く、次いで「②地域の社会福祉事業者の相談窓口相談する」が19.4%となっています。

前回調査時と比較すると、「③地域で活動しているNPO法人やボランティア団体などと連携して対処する」と回答した割合が6.2ポイント増加している一方、「②地域の社会福祉事業者（社会福祉協議会など）の相談窓口相談する」が4.8ポイント減少しています。

社会福祉法人

NP0法人

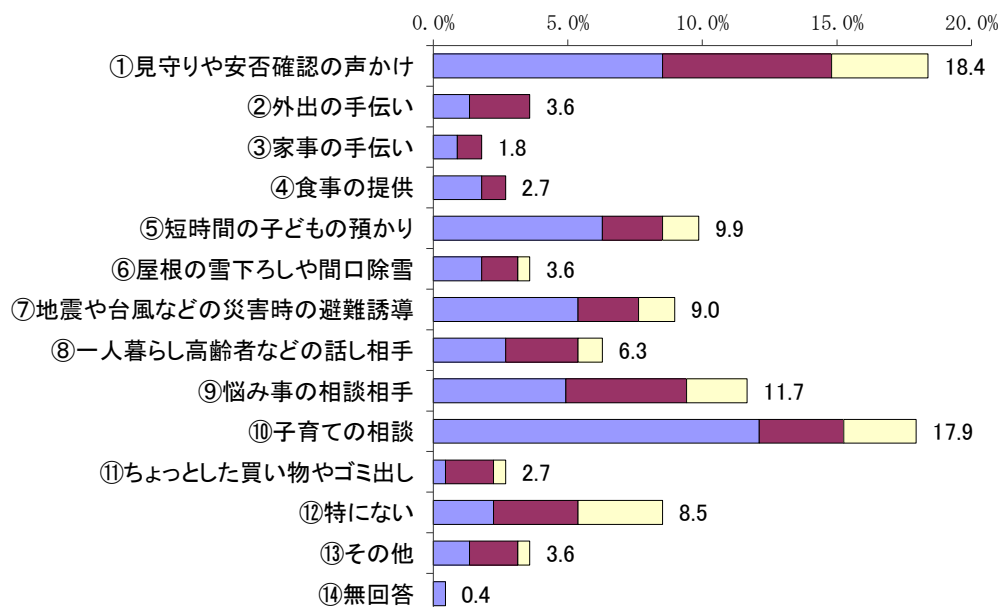
ボランティア団体

【問11】

近所に、日々の生活において、支援を必要としている人がいた場合、貴団体はどのような手助けができますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

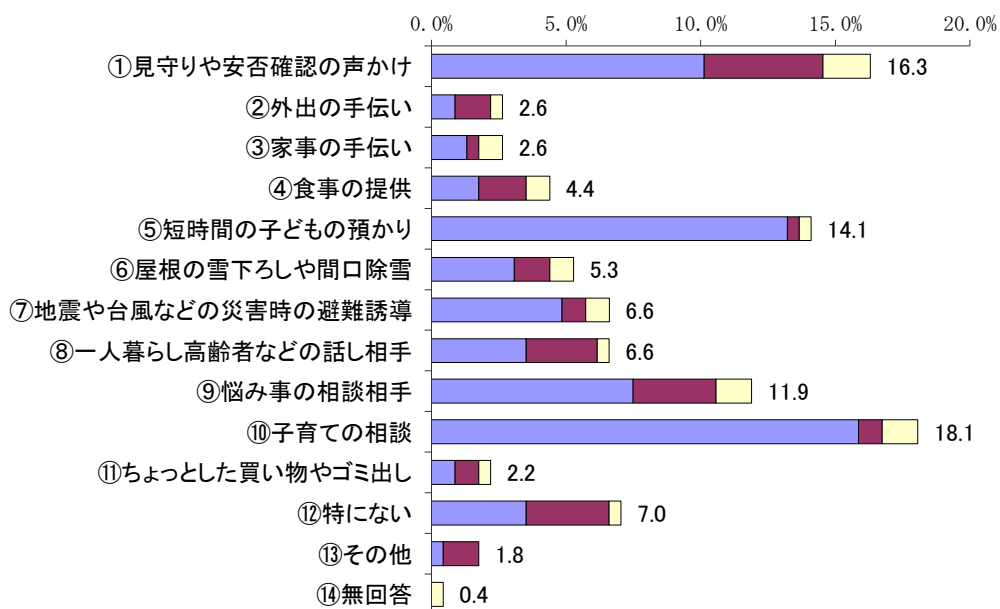
【R5】

(n=223)



【H27】

(n=227)



どのような手助けができるかについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した割合が18.4%と最も高く、次いで「⑩子育ての相談」と回答した割合が17.9%となっています。

前回調査時と比較すると、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」と回答した割合が2.4ポイント、「①見守りや安否確認の声かけ」が2.1ポイント、それぞれ増加しています。

社会福祉法人

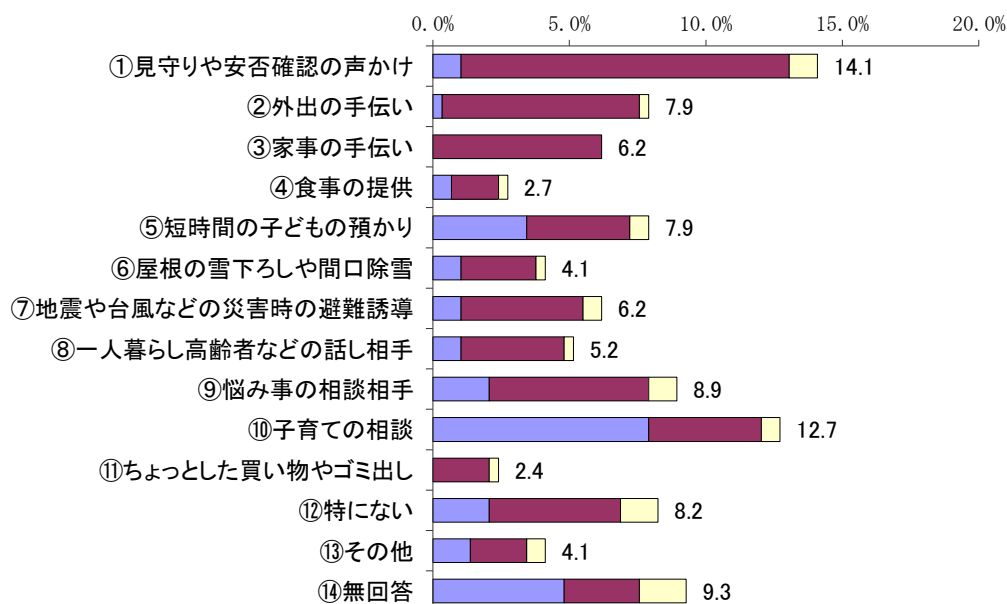
NPO法人

ボランティア団体

【問12】（問10で特にないと答えた方は回答不要です）
問10で近所の方に手助けが可能と答えた項目のうち、貴団体が実際に行っている手助けはどのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

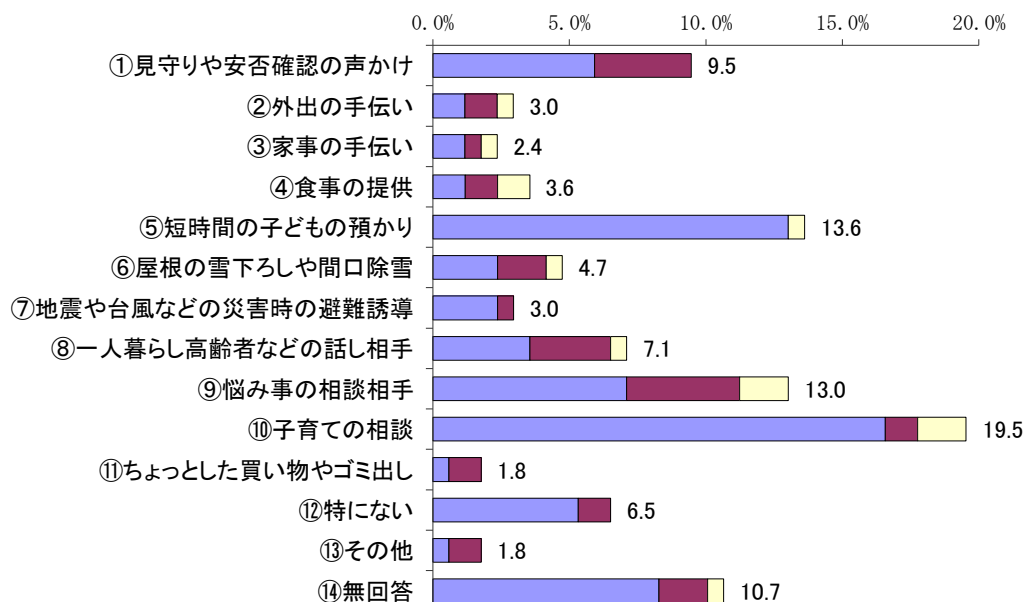
【R5】

(n=291)



【H27】

(n=169)



実際に行っている手助けについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した割合が14.1%と最も高く、次いで「⑩子育ての相談」が12.7%となっています。

前回調査時と比較すると、「①見守りや安否確認の声かけ」、「②外出の手伝い」、「③家事の手伝い」、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」と回答した割合が増加した一方、「⑤短時間の子どもの預かり」、「⑨悩み事の相談」、「⑩子育ての相談」と回答した割合が減少しています。

社会福祉法人

NPO法人

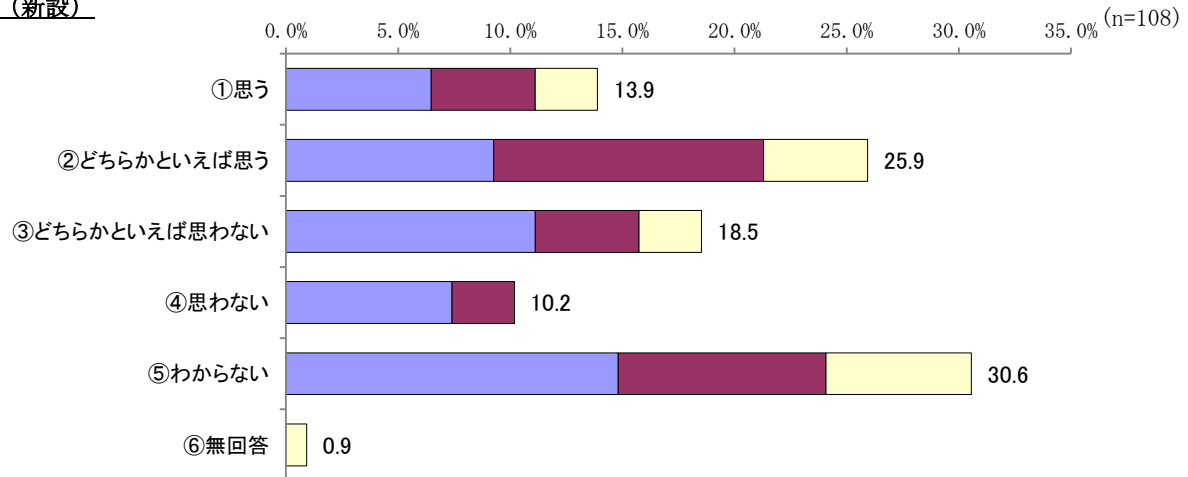
ボランティア団体

Ⅱ. 再犯防止に関するあなたの考えについて

【問13】

貴団体として、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか？該当するものに○をつけてください。
(○は1つ)

R5 (新設)

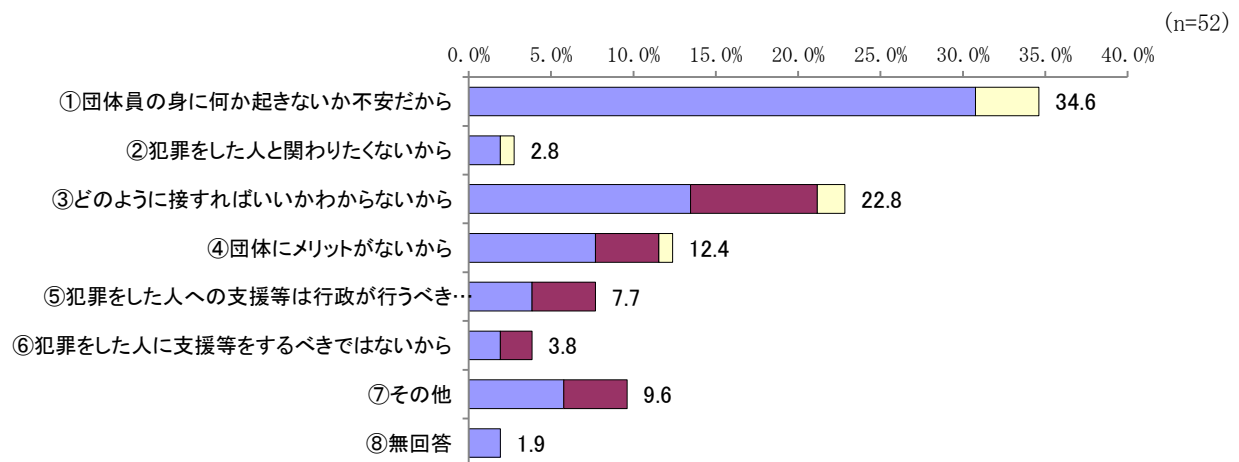


犯罪をした人の立ち直りに協力したいかどうかについては、「⑤わからない」と回答した割合が30.6%で最も多く、次いで、「②どちらかといえば思う」の割合が25.9%となっています。

【問14】 <【問13】で「3」、「4」と回答した方のみ>

思わないと答えた理由は何ですか？該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

R5 (新設)



思わないと答えた理由については、「①団体の身に何か起きないか不安だから」の割合が34.6%と最も多く、次いで、「③どのように接すればいいかわからないから」が22.8%となっています。

社会福祉法人

NPO法人

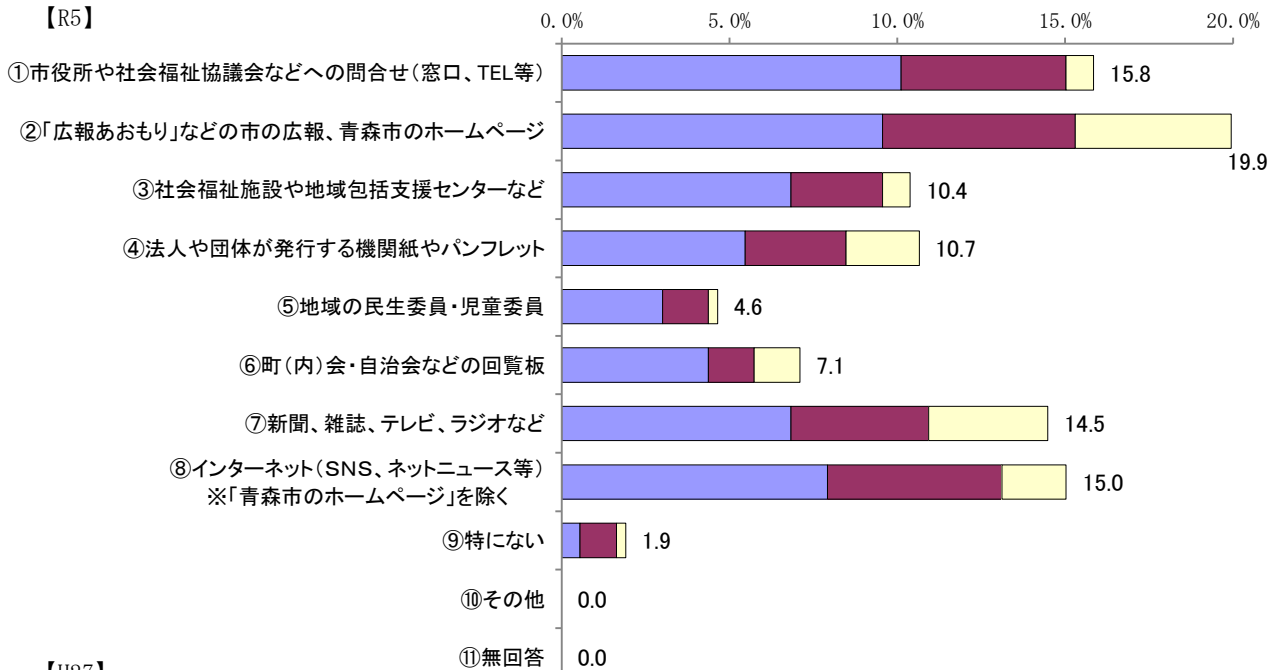
ボランティア団体

【問15】

あなたは、福祉サービスに関する情報をどのようにして入手していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

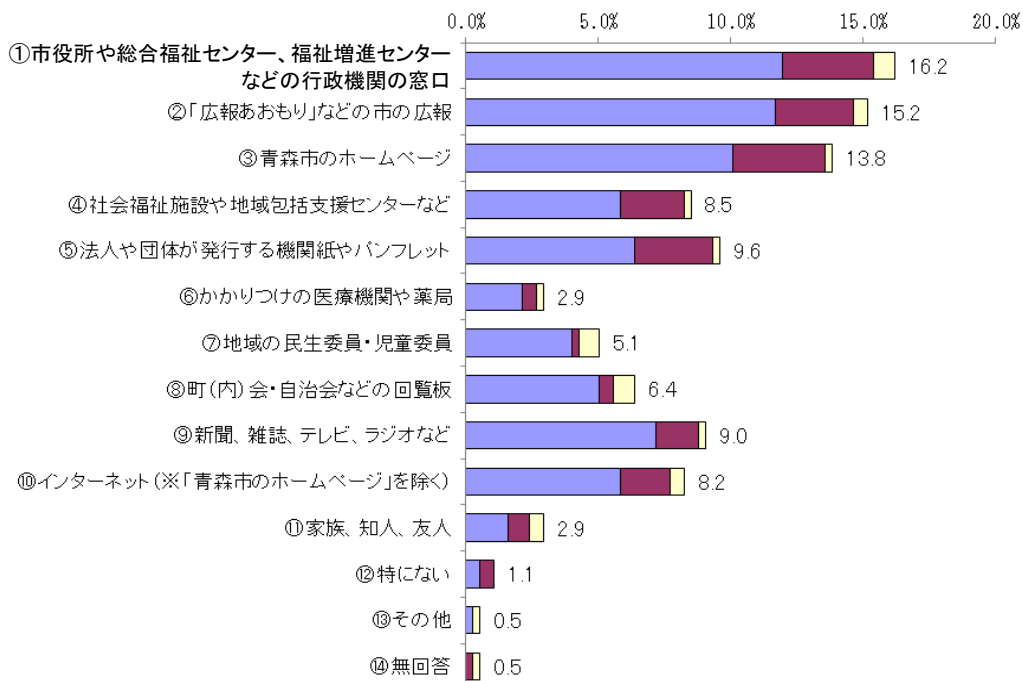
(n=366)

【R5】



【H27】

(n=376)



福祉サービス情報をどのように入手しているかについては、「②「広報あおもり」などの市の広報、青森市のホームページ」と回答した割合が19.9%と最も高く、次いで「①市役所や社会福祉協議会などへの問合せ（窓口、TEL等）」が15.8%となっています。

前回調査時と比較すると、「⑧インターネット（SNS、ネットニュース等）」と回答した割合が6.8ポイント、「⑦新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど」が5.5ポイント、それぞれ増加しています。

社会福祉法人

NPO法人

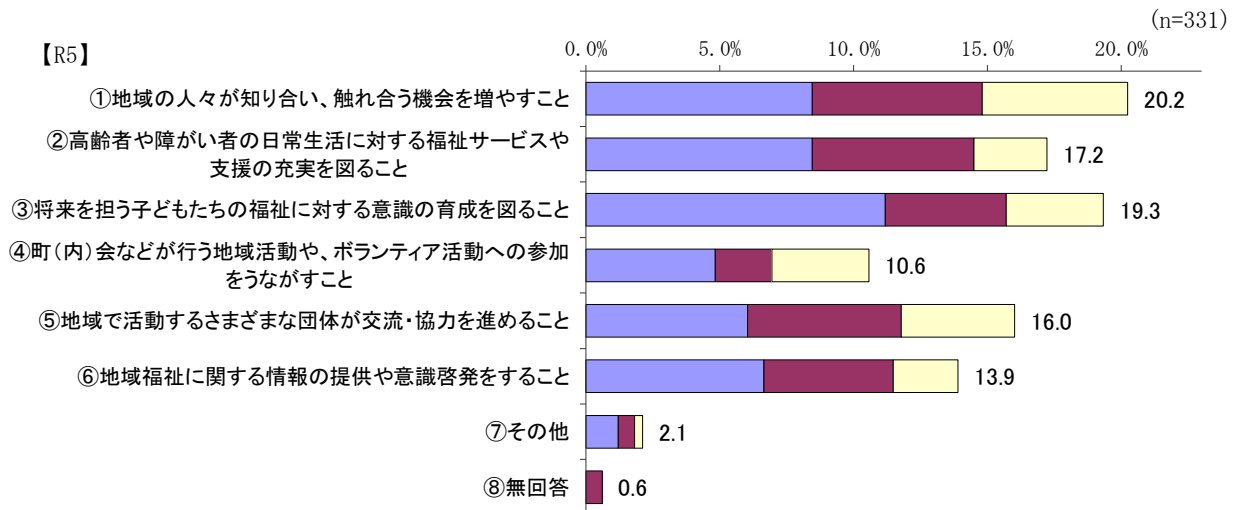
ボランティア団体

Ⅲ. 地域福祉に関するあなたの考えについて

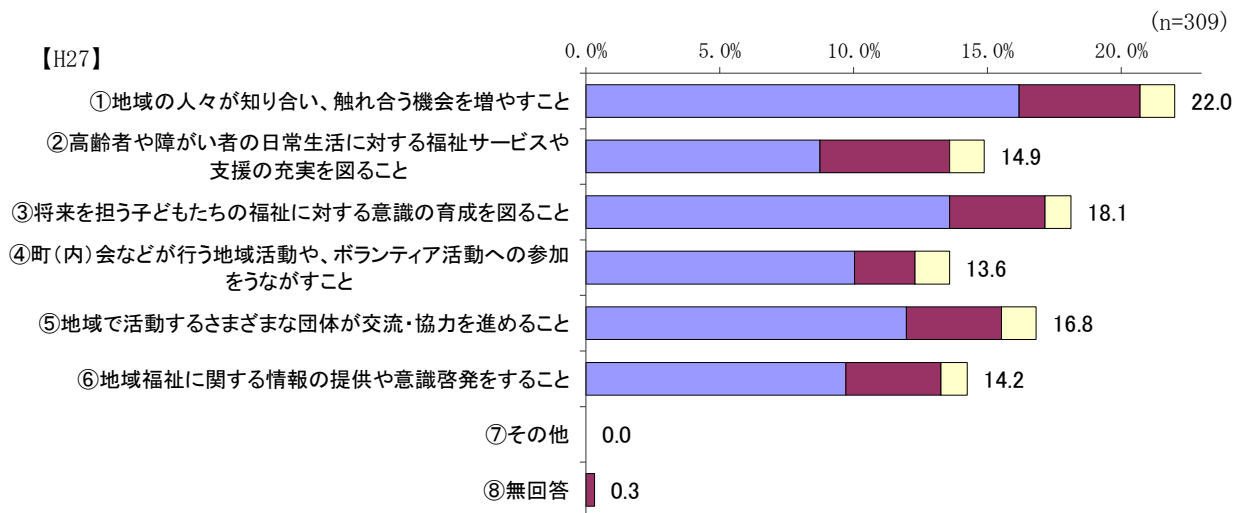
【問16】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体は、どのような取り組みが必要であると考えますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

【R5】



【H27】



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるためにできる取り組みについては、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」と回答した割合が20.2%と最も高く、次いで「③将来を担う子どもたちの福祉に対する意識の育成を図ること」が19.3%となっています。

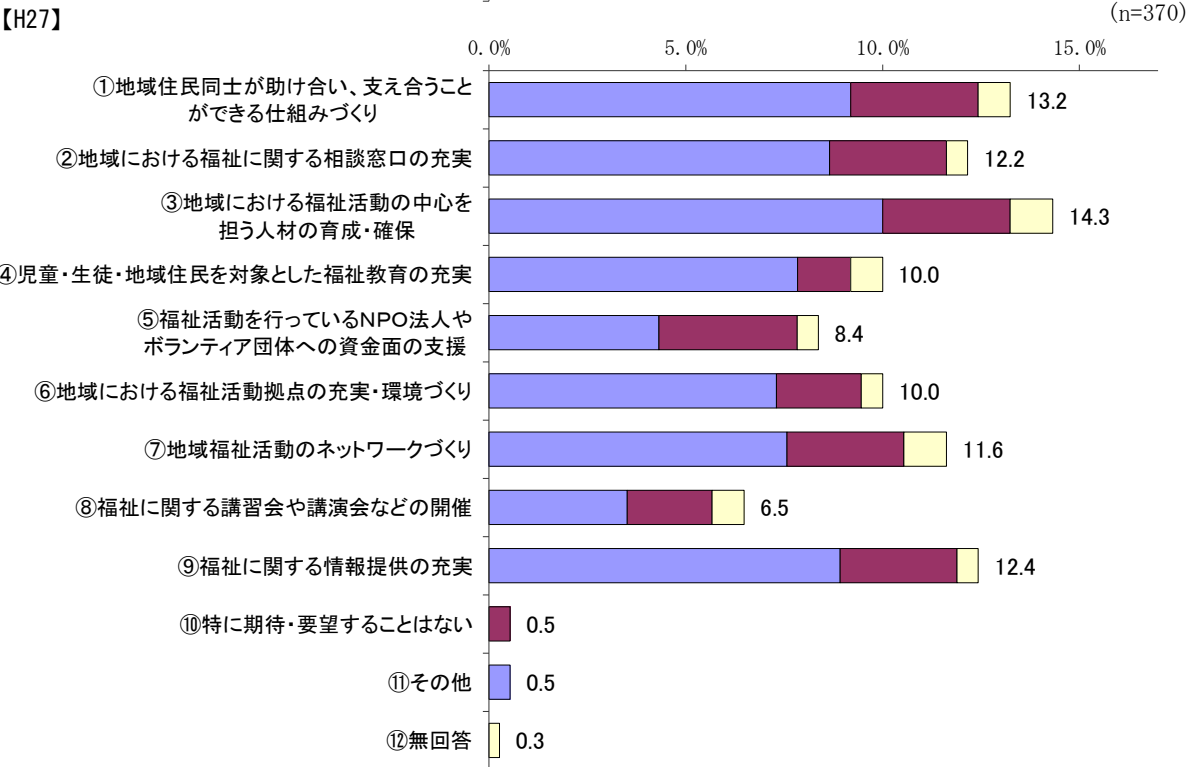
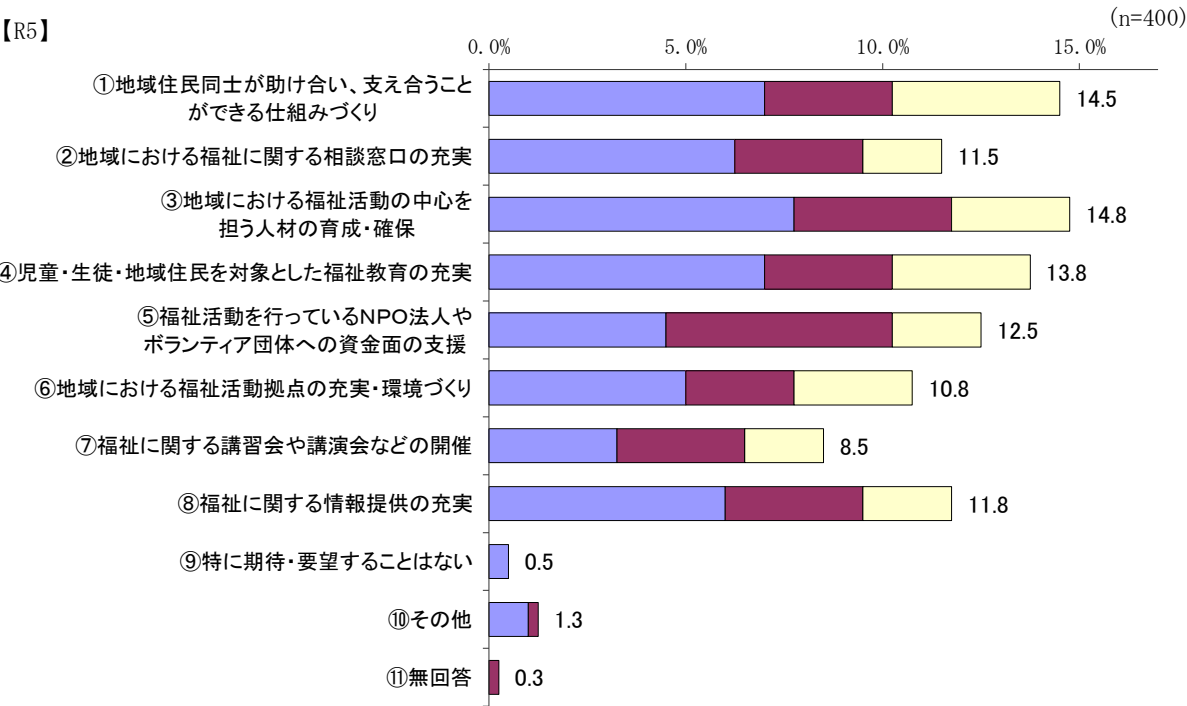
前回調査時と比較すると、「②高齢者や障がい者の日常生活に対する福祉サービスや支援の充実を図ること」と回答した割合が2.3ポイント、「③将来を担う子どもたちの福祉に対する意識の育成を図ること」が1.2ポイント、それぞれ増加しています。

社会福祉法人

NPO法人

ボランティア団体

【問17】
貴団体は、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



地域福祉を進める上で行政に期待・要望することについては、「③地域における福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」と回答した割合が14.8%と最も高く、次いで「①地域住民同士が助け合い、支え合うこと」が14.5%、「④児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実」が13.8%となっています。

前回調査時と比較すると、「⑤福祉活動を行っているNPO法人やボランティア団体への資金面の支援」と回答した割合が4.1ポイント、「④児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実」が3.8ポイント、「⑦福祉に関する講習会や講演会などの開催」が2.0ポイント、それぞれ増加しています。

【問18】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

別紙参照

【問18】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

【近所付き合い・地域住民の交流】

	回答者	回答内容
1	社会福祉法人	地域のコミュニケーションを活発にしたい。
2	NPO法人	災害が多発する最近、高齢者や障害のあるかなど町会の助け合いが即できるように常日頃から顔の見える関係づくりや万が一の場合に援助するなどを決めておくことが必要と考えます。
3	NPO法人	子育てしやすい環境の整備、近所付き合いが希薄になっているので、繋がりがほしい
4	ボランティア団体	高齢者たちがお互いに助け合って生活できるような住居があったらいいと思います。
5	ボランティア団体	地区町会の一部は高齢化が進み、地域活動がほぼ行われていないのに、実施したような文言の総会資料であり、住民から集めた町会費の用途、が不明な部分が多々あるため、地域住民の不信感や地域活動への不参加、近隣住民の希薄さに拍車がかかっている。

【福祉施設・活動拠点の充実】

	回答者	回答内容
1	NPO法人	なかなかNPOでも交流の機会が少ない。どのNPOにも交流できるテーマを設けてプラットフォームで集まれる場づくりを行政が用意すべきである。

【意識啓発・高揚】

	回答者	回答内容
1	社会福祉法人	他者に関心を持つ、福祉、優しさについて親子で学べる機会が多ければいいと思う。
2	社会福祉法人	人を思いやれる「人づくり」から始まり、その人たちが繋がり優しい地域が作り出され、安心できる地域となっていくと思います。
3	NPO法人	誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことのできる地域づくりを期待しています。「わかってほしい」だけでなく「わかってもらう努力」が必要と感じております。
4	NPO法人	多様な人間の在り方を認める共生社会から多様な人間の交流・暮らしあいを作り出していく共生社会への移行期にあると思います。 地域での活動拠点があり具体的な活動を展開し素の活動の様子を市や市社協が地域に情報として伝えていくような活動が拡がるいいと思います。

【人材の育成・確保】

	回答者	回答内容
1	社会福祉法人	若者の定住が増えるといい。福祉事業には人が必要。
2	NPO法人	完全ボランティアでは限界があります。活動に見合った報酬制度が導入されればと思います。

【地域活動の情報提供】

	回答者	回答内容
1	社会福祉法人	情報が集まらない、発信しにくい点がある。 その地区にどのような資源があるか分からない。

【その他】

	回答者	回答内容
1	社会福祉法人	一人暮らしの高齢者、障害者等の雪かき、ゴミ捨て、ペットの世話当、介護保険等が使えない ケースが増えている。 他方、効果的、持続的支援対策がない。 制度外の困りごとを解決する手段が増えるといいです。
2	NPO法人	制度の谷間にいる人をなんとかしてほしい。